

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 144	提案機関名 神奈川県漁業士会
要望問題 グミの発生する漁場環境の解明	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ・グミが東京湾、相模湾で増加し、漁業への障害が起きている。 ・グミの大量発生が漁場環境の悪化と関係しているのでは？と漁業者は不安に感じている。 ・東京湾、相模湾におけるグミの発生量と漁場環境の関係を調査し、大量発生の原因を解明するとともに、駆除方法を示してほしい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター②畜産技術センター③水産技術センター④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画資源部（普及指導担当）
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)	水産業改良普及活動・漁業の担い手育成		
対応の内容等	27年度は相模湾、東京湾で刺網、底引き網等を行う漁業者を対象に、グミの発生と底質等漁場環境の状況について聞き取りを行い、グミの多い海域とその特徴を把握します。また文献調査をもとに、グミの駆除方法を示します。28年度以降、漁業者の協力による現地調査を行い、聞き取り調査結果の裏付けを得ます。これらを元にグミの発生と漁場環境の関係について考察し、グミの少ない漁場環境へ回復するための方策について提言いたします。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			